

社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会（平成29年度第3回）

議事概要

1. 日 時

平成30年3月13日（火） 13:00～15:10

2. 場 所

東福第2ビル 1階 第1会議室

3. 出席者

〈委員長〉

辰巳 浩 福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 教授

〈委員〉

大枝 良直 九州大学大学院 工学研究院 准教授

河西 宏 (株)長崎経済研究所 専務取締役

桑野 和泉 (一社)由布院温泉観光協会 会長

笹川 理子 弁護士法人 笹川法律事務所 弁護士

戸田 順一郎 佐賀大学 経済学部 准教授

円山 琢也 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授

4. 議事内容

【審議結果】

○新規事業採択時評価

【一般国道218号（九州横断自動車道延岡線）五ヶ瀬高千穂道路】

- ・事務局より、事業実施環境、事業概要、課題、効果等について説明。
- ・当該区間は、地形的条件から、橋梁やトンネル構造が多くなっているが、冬季には路面凍結等が懸念されるため、なるべく橋梁を少なくする工夫をしてほしい。
- ・当該区間は、構造物が多く、コストが高い影響で個別B/Cは1.1だが、広域ネットワーク整備の観点より、一体評価B/C 2.4の方が重要と考えている。
- ・一般国道218号（九州横断自動車道延岡線）五ヶ瀬高千穂道路の新規事業化については、妥当である。

【一般国道34号 大村諫早拡幅】

- ・事務局より、事業実施環境、事業概要、課題、効果等について説明。
- ・当該区間は両市間の生活や物流等において重要な路線であり、現状の課題を改善する必要性が高いと認識。
- ・道の駅がある鈴田峠区間はバイパス整備となることから、来場者への案内等、十分に配慮する必要がある。
- ・道路整備に伴う時間短縮により、医療面で大きな効果が期待されるため、今後はより分かりやすく伝える工夫が必要である。
- ・一般国道34号 大村諫早拡幅の新規事業化については、妥当である。

【一般国道3号 岡垣バイパス】

- ・事務局より、事業実施環境、事業概要、課題、効果等について説明。
- ・岡垣町では土地開発などのまちづくり整備や、国道3号と接続するバイパス整備が進められており、今後国道3号の交通量が増えることが考えられるため、岡垣バイパスの整備は重要である。
- ・一般国道3号 岡垣バイパスの新規事業化については、妥当である。

○計画段階評価

【中九州横断道路（竹田～阿蘇）】

- ・政策目標の設定、複数案の設定、評価項目の設定、複数案の比較評価、意見聴取の方法については、妥当である。
- ・意見聴取は、ルート帯案やルート帯案の比較表について考え方を補足するなど、地域住民等が内容を理解して回答できるよう工夫してほしい。

以上